

## 2020 年度

## 授業概要

科目名	生体機能代行装置学Ⅲ（代謝）②			授業の種類	講義演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間	2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期
							2年 通年
【授業の目的・ねらい】 透析治療をはじめとした血液浄化療法全般について、社会的背景、病態、原理、操作、安全管理、臨床での実際を理解することを目的とする。本講義を通して、臨床に必要な知識全般を習得し臨床での即戦力になることを狙いとする。							
【実務者経験】 臨床工学技士として桃仁会病院等で、慢性維持透析やカテーテル室業務等に従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 前期では透析治療における社会的背景、原理、基本的治療、安全管理を体系的に解説する。後期では、透析患者の合併症や薬剤、前期で学んだ内容が臨床でどう落とし込まれているか、血液透析以外の血液浄化療法（アフエレス）について解説する。講義の進捗に合わせた国家試験疑似問題を課題とする。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 血液透析治療における原理、治療、材料、安全・感染管理、合併症、薬剤、今後の問題点について述べるができる。アフエレス療法について原理と概要を述べるができる。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	透析膜の種類や構造、それぞれの特徴について学ぶ②						プロジェクタ
17	透析膜の性能指標と機能分類の基準と変遷について学ぶ①						プロジェクタ
18	透析膜の性能指標と機能分類の基準と変遷について学ぶ②						プロジェクタ
19	代表的な透析治療方法の種類と特徴、在宅透析の概要を学ぶ①						プロジェクタ
20	代表的な透析治療方法の種類と特徴、在宅透析の概要を学ぶ②						プロジェクタ
21	治療システムの評価指標とその意義について学ぶ①						プロジェクタ
22	治療システムの評価指標とその意義について学ぶ②						プロジェクタ
23	透析監視装置、透析液供給装置、水処理システムについてその原理と保守を学ぶ①						プロジェクタ
24	透析監視装置、透析液供給装置、水処理システムについてその原理と保守を学ぶ②						プロジェクタ
25	透析用水・透析液水質の基本とバリデーションについて学ぶ①						プロジェクタ
26	透析用水・透析液水質の基本とバリデーションについて学ぶ②						プロジェクタ
27	医療事故防止の基本概念と透析治療中の事故に関する原因、対処法を学ぶ①						プロジェクタ
28	医療事故防止の基本概念と透析治療中の事故に関する原因、対処法を学ぶ②						プロジェクタ
29	前期講義内容について復習し、疑問点をなくす①						プロジェクタ
30	前期講義内容について復習し、疑問点をなくす②						プロジェクタ
定期筆記試験							
【使用教科書・教材・参考書】 ・臨床工学講座 生体機能代行装置学 血液浄化療法装置 第2版、竹澤真吾 ほか、医歯薬出版株式会社 ・配布資料							
【準備学習・時間外学習】 準備学習：次回講義範囲について教科書を読んでおく 時間外学習：要点をレポートにまとめ提出する							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する 提出物の評価を40点、定期試験を60点として合計100点とする 60点以上の場合に科目を認定する							